

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター あすなろ学園			
○保護者評価実施期間	令和7年12月25日		～	令和8年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数)	36名
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～	令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	20名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 集団活動を基本としながら、個別遊びの充実を図り、より個々の興味、発達に応じたプログラムを図っている。	・ 専門職職員（言語聴覚士、作業療法士、小児科医）と定期的にケース検討会議を実施しており、児童のアセスメントと、児童への関わりや課題を共通理解し支援している。 ・ クラスの枠を超えたグループを編成もしている。	・ 専門職職員による個別課題遊びの内容を日常の療育に取り入れるとともに、保護者とも共通理解にいくため、学園と家庭とで連携していく。
2	・ 定期的に親子通園がある（月3～4回程度）。その中で、実際に我が子の様子を見ながら、活動に参加できること。	・ 保護者と職員が子どもの状況を共通理解できるよう、日々の状況を伝えている。 ・ 子育ての困り感や悩みに寄り添うよう努めている。	・ さらに、親子通園時には親子で達成感を共有できるようなプログラムの工夫をしていく。 また、父母教室や懇談会、父親が積極的に参加できるような企画など、家族支援の充実を図っていく。
3	・ 園庭が広い	・ ダイナミックな遊具設定を工夫したサーキットを作ったり、乗物遊び（自転車やそりなど）も安全に配慮しながら取り入れている。 ・ ボールや玩具が道路に出ないように、高めのネットで安全対策をしている。	・ 行事も含め、様々な親子遊びやクラス遊びの充実を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物の環境面での課題が多い。（児童トイレや支援室の数が不足、老朽化している）	・施設開設４７年が経過しており、老朽化が進んでいる。児童が安全に活動できるよう、不具合が生じた場合、随時修繕を行っている。	・児童が安全に活動できるよう、不具合が生じた場合、随時修繕を行っている。 ・施設更新委員会を設置し、施設立て替えに向けて検討している。
2	・令和６年度から 言語聴覚士を非常勤職員として雇用し、月２回程度来園してもらい、個別のやり取り遊びを親子に提示してもらっている。降園後ケース会議で児童の発達の捉え方や日常の関わり方の助言をしてもらっている。ただ、４０人いる児童については、非常勤職員であるため、関わる回数が限定され、年間１回程度が現在の回数では限界である。	・非常勤職員であることが課題と考えている。正規職員として雇用し、クラスを超えて、さらには 通園課と地域支援課を超えて 横断的に児童に係る存在としていることで、より専門職の専門性を活用でき、国が示している「幅広い高度な専門性」につながると考える。	・言語聴覚士を正規職員として雇用するには、費用面が課題となる。国が示している「幅広い高度な専門性」の確保には、報酬改定による加算や関係自治体の補助金等の特別枠などが必要であることを都度説明し働きかけていくことが必要な点と思われる。
3	・平成２６年度に埼玉県から委託を受けて、障害児等療育支援事業を開始した。具体的には発達相談・巡回相談・カンガルー通園・在宅支援である地域支援課の中核となる事業であり、地域からの支援内容の評価は高い。ただ、サービスの質を確保するためには、経験と知識が豊富な人材を配置する必要があるが、それに見合った収入が得られていないのが現状である。概算での予算を県は支給するが、それ以上のサービス負担は事業所となっている。	・平成２６年から、埼玉県の制度設計に変更がないことがあげられる。毎年度、県職員を交えた報告会は実施されており、その場でも、現状を報告し、持ち出しの費用があることを伝えており、県職員も持ちかえり報告をしているとのことだが、現状維持のままである。	・埼玉県の制度設計の変更を都度伝えることは必要だが、施設の財政面を考えると、収支が均衡を保っていない現状から、給付費での収入が見込める、相談支援事業や保育所等訪問支援事業に地域支援事業を移行する必要も視野にいれる必要があると考える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人戸田蕨福祉会 あすなろ学園

公表日： 2026 年 3 月 19 日

利用児童数： 38名

回収数： 36

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	36	0	0	0	・ 園庭が広く、子どもの好きなブランコや滑り台も設置してある。 ・ 園庭がすごいと思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	5	0	0	・ 普段はよくしてもらっていますが、高いところから落ちたこともあるので 増やしてほしい ・ 必要に応じて担任外の先生も指導に加わってくれるものの、親子通園の 保護者でカバーしている部分があることは否定できないと思います。 ・ できる範囲内で適切な対応をしていただいています。	・ 安全面に関しては、今後も職員 間で連携し、声を掛け合いなが ら、子どものけがを未然に防ぐ よう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	4	0	2	・ 園庭の中に極一部ですが段差があり、まだ歩行が不安定な子供が歩いて いると躓いて転倒しないか心配になる事があります。 ・ さくらクラスの荷物棚の空きがクールダウンスペースになっているら しく、こう言う配慮もあればありがたいなと思いました。	・ 毎日園庭の安全点検はしていま す。段差のある場所は職員が注 意しながら安全にあそぶことが できるように努めています。 ・ クールダウンが必要な場合は子 どもの状況に応じて対応してい きます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	33	3	0	0	・ 掃除はして頂いてますが、古いので建て替えが必要かと思います ・ こどもたちは裸足で過ごすので、冬場の床の冷たさが気になることが あります。 ・ またトイレが2クラスにひとつなので、いま、(こどもの)やる気がある のに入れないなんて！と苦く思った経験が何度かあります。	・ トイレの環境整備は課題となっ ています。プレイルーム、園庭 トイレを活用しながら対応して います。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	34	2	0	0	・ 子どもの性格に合わせ丁寧にやりとりを積み重ねて「出来た」を増やす よう努力されていると感じます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	0	0	0	・ おおむねその通りだと思えます	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支 援計画（個別支援計画）が作成されていると思いま すか。	35	1	0	0	・ こちらからの要望だけでなく、意見や提案も交えて計画を立てていただ いていると思います	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	2	0	3	・移行支援がまだよくわかりません	・移行支援とは、就園先や就学先と、これまでの支援状況や子どもの発達状況を共有していく支援です。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	0	0	1	・丁寧に指導していただいています。 ・初めての個別支援計画なので分かりません。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	1	0	1	・もっと他のクラスと同じような自転車とかやりたい ・親子通園では、新しいプログラムを目にすることも多いので、色々と取り組んでいただいているのだと感じています。 ・毎日の活動だけでなく、リズム運動も新しい動きを定期的に取り入れて大変工夫されていると感じます。	・子どもの発達や興味に合わせた活動を工夫していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	6	10	11	・たまに兄弟参加可能な学園行事はありますが、かといって交流するという感じでもなく、あまり取り組まれていない印象の方が強いです。	・近隣の保育園との交流を今後検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	3	0	1	・説明会では個別の質問ひとつひとつに丁寧に回答をしていました。	・入園前の説明会で伝えていますが、分からないことがある場合は丁寧に説明していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	1	0	0	・必ず書面と説明や相談内容に相違はないですかと聞いてくださるので、気を配っている様子は伝わります。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32	2	0	2	・研修会で卒園生の保護者の方たちのお話を聞いたりできるのはとても貴重な機会だと思います。 ・家族支援プログラムが具体的にどのような内容を指すのかが分からなかったため、「どちらともいえない」を選択しました。 ・お便りだけでなく説明会の実施もあり良く対応されている方だと思います。 ・勉強会や卒園児の保護者の方から話を聞ける機会があり、毎日目の前の事ばかりで過ごしているので、長期的な視点のお話が聞けて、とても良い機会でした。	・家族支援プログラムは行っていないませんが、クラスの特徴や関わり方、配慮すること等職員と保護者が共に学ぶ機会（懇談会等）を設けています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保 護 者 へ の 説 明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	34	2	0	0	・忙しいのかと思いますが、こちらから聞かないと教えてくれない ・親子通園では必ずどの担任の先生からもお声がけがあり、子どもの状況について理解を深める一助となっています。 ・コドモンの連絡帳や親子通園で伝え合ったり、毎月の目標が教室に掲示されていて分かりやすいです。	・親子通園時や送迎時、必要に応じて面談を通し、子どもの様子を伝えたり、保護者の思いを傾聴していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	2	0	0	・生活動作の指導については特に共有してくださったり、家で何かを取り組む際のアイデアを一緒に考えてくださったり、とても感謝しています。	・面談は年2回実施していますが必要に応じて随時対応していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	3	0	0	・否定気味のときもある ・とても親身に対応されていていつもありがたく感じています。 ・親子通園のたびにたくさん話を聞いてくださり嬉しいです。また、否定的な事も言われません。	・保護者の思いを丁寧に傾聴していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	12	2	6	・他のクラスのお母さん方とはなかなか交流の機会がないので、お話できる時間が増えると嬉しいです。 ・きょうだいへの支援というのは特に実感がないかなと思います。 ・正直なところ、違うクラスの保護者の方とはあまり会話の機会はない印象です。	・兄弟への支援に関しては、保護者から相談があった時に個別に相談に応じています。 ・保護者等の交流に関しては、親子通園や行事等を介し、保護者同士が思いを共有できる場を工夫していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	0	3	・コドモンが取り入れられて、いっそう連絡が取りやすくなったように思います。 ・次の親子通園までに色々調べてくださったり、相談したいと言うと快く聞いてくださる等、大変迅速で真摯な対応をされていると感じます。	・保護者からの相談がある場合は迅速に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	3	0	1	・情報は、聞かないと来ない	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	1	0	1	・ホームページはあまり見ないので、その点は不明です。	・学園たよりや広報誌を定期的に発行し、子どもたちの様子や学園の取組等を伝えています。 ・インスタグラムを通して随時、子どもたちの活動の様子を伝えていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1	0	0	・子供の病名について園内では特に隠すつもりはないのですが、他の保護者の方がいて話が聞こえる空間で先生方に突然病名を口にされてしまうと少し戸惑います。 ・職員室が基本的に部外者立ち入り禁止なので、留意されているのだろうと想像できます。	・保護者の心情に配慮しながら話すことを心掛けていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	3	0	1	・マニュアルについては見かけたもの、見かけてないものがあるように思います。 ・訓練については、こどもが地震の訓練した日だったのでしょうか、興奮気味に「ぐらぐらしたらね！こうね」と説明してくれました。しっかり指導されているのが良く伝わりました。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	1	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	3	0	0	・避難誘導等の注意書が保護者にもわかる場所に掲出されているなど、熟慮されていると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1	1	0	・血を流している子供がいても、他のクラスにいた保護者への伝達が帰宅時だったときは驚いた ・こどもがどこかぶつけたら必ず丁寧に伝えてくださっているようなので。	・けが等に関して保護者への周知は迅速に対応していきます。 また、けがの状況や経緯についても丁寧に説明していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36	0	0	0	・先生好き!と言っていたので。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	0	0	1	・たまに行き渋りもしますが、何個か活動や先生の名前をあげて行こうよ？とうながすと行くと答えてくれるので。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	0	0	0	・難しいところのあるこどもに対して真摯に向き合っていていつも感謝しています。 ・いつも、あたたかいご支援をいただき心より感謝申し上げます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 社会福祉法人戸田蕨福祉会 あすなろ学園

公表日： 2026 年 3 月 19 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	4	・プログラムや支援内容によって場所を変更して工夫している。 ・パーティション等を利用し空間を区切っている。もう少しパーティション等のバリエーションがある方がいい ・児童用のトイレが少ない ・個別支援室が少ないと感じる。使用したいクラスは、事前もしくは当日に他クラスに確認をしたり時間を変えて使用するなどの工夫はしている。 ・概ね適切。子どもの特性によっては安全確保が難しいため、グループに分けて活動する。	・児童個々の状況に合わせて支援していくには、部屋数やトイレ数など環境面での改善は大きな課題。限られた環境の中で、職員間で連携し、調整していくことが必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	2	・人材確保に力を入れている。Instagram開設・地域市役所に出向いて発達相談等行い、施設を幅広く知ってもらおうと努めていると思う。 ・グループ分け等行いたい時に、“職員の数が足りないから、今日はできない”となることが多い。 ・今年度は休職中の職員がいないことや非常勤職員が多く、クラス間で支援ができることが多かった。 ・地域支援の充実に伴い、コミュニティソーシャルワーク専門の職員も今後検討。 ・昨年度より職員の人数は増えている。また非常勤職員が多いことで、グループ・個別活動に取り組むことができる。 ・今年は人員がいる	・職員が休みの時は、適正な配置人数になるよう随時調整しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	2	・バリアフリーに関しては、施設自体が古いため難しいが改善の余地あり。 ・表現活動が柔軟に出来るスペースの検討。 ・施錠が徹底されていて安全。園庭もネットが張られ改善されて良かった。 ・バリアフリーになっていない場所、雨漏りが気になる場所がある。	・環境面での改善は大きな課題となっている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	3	・予算の関係ですぐに再修繕をすることは難しいのは理解しているが、修繕箇所が目立っている。 ・職員による消毒や清掃員による消毒など二重の清掃など衛生管理している。 ・教室のタイルが劣化して隙間が空いている為、食べ物が挟まり不衛生。また小物玩具が挟まると取りにくい。 ・水道からお湯が出ると、子どもが心地良く手洗いができると思います。 ・この時期は加湿器をつけているが、天井も高く、廊下につながる窓は開いているためどれだけ効果的かは不明	・衛生面では、職員による清掃消毒、委託業者による清掃消毒の徹底をしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	3	・個別で使える部屋が少ない。 ・全てのニーズにこたえられるだけのスペースはない。 ・活用できる部屋をうまく融通している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19	1	・職員集団を個やグループに分けて様々な意見を聞いている。 ・日々の指導をクラス担任で振り返っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	3	・親子通園もあり、直接意見を聞ける場もある。 ・機会を設けているのかわからない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	2	・職員の意見を聞く場は設けていると思うが、業務改善につながっているかはわからない ・職員の経験年数によるミーティングや非常勤職員など経験や立場別で意見聞いている。 ・定期的に面談等を行っているが、改善されているという実感はない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	3	・専門的な人＝大学教授のとなつがり、第三者評価実施。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20	0	・通園、地域支援ごとの研修計画の立案と実施 ・年に数回様々な研修がある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20	0	・支援会議丁寧に実施	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20	0	・クラスでの話し合いや支援会議などで共通理解している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19	1	・非常勤職員にはあまり共有されていない点 ・全体的計画、クラス計画など多層的の計画立案	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	19	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20	0	・学期ごとの見直しなどやっている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	1	・職員の人数に余裕があれば積極的に個別の活動も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	0	・支援開始前には必ず非常勤職員含め全員で確認し、共通理解できるよう努めている。 ・非常勤職員にも説明している ・日課をホワイトボードに表示してあり、わかりやすい	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	5	・日々の振り返りはほぼないが、気づいた事を伝えている。月一くらいでクラスで話し合い。 ・クラス担任間では行っているが、非常勤職員とはできない日もある。 ・わからない点や気になった点は、できる限りその日のうちに話して解決共有できるよう心掛けています。 ・今年から導入している、水曜に上司がバス添乗となった場合は出来た	・非常勤職員との話し合いを水曜日に設け情報共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	2	・個人的にはしていません。 ・月間等で記していることが多いが、毎日振り返り、毎日記録をつけることは出来ていない	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	2		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	1	・新型コロナウイルス感染後は行っていない。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	・学校側の書式にのっとり、情報を可視化している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	18	2		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			・連絡会や子ども部会などで、中心的役割果たしている	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	20	0	・大学の先生から助言受け、学びの機会作っている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18	2		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	10	・学園の園庭開放して、近隣園と交流したらいいのでは。 ・交流はしていない。 ・コロナ禍以降実施していない	・今後、保育園との交流を企画していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20	0	・主に、月に4回程ある親子通園のなかで伝えている ・連絡アプリ、懇談会、個別面談など多様な形態で回路作っている ・月に3回程親子通園を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	19	1	・父母教室など保護者研修や親の会の活動紹介など ・親子通園の中で伝えていることが多い。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20	0	・主に月に4回程ある親子通園の中で行っている。 ・親子通園の利用、親が相談しやすい雰囲気	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18	2	・兄弟同士で交流する機会は設けていない。 ・きょうだい同士での交流は行っていないが、対象者が多い場合は取り入れてもいいと思う。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	20	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	6	・おおきな行事に、自治会長などを招待、 ・コロナ禍以降実施していない	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	20	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	19	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	0	・記入しやすいヒヤリハット作成、事例あれば、毎日午後打ち合わせで報告	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター あすなろ学園			
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～	令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月6日		～	令和8年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2件	(回答数)	2件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・丁寧な観察を通して、本人の強み・苦手さ、園の関わりの良さなどを保護者や園と共有することを土台に、児童への共通理解を深めたり、保護者の不安や悩みの軽減に向ける。	・主に以下3点を大事にしている。 ①保護者や園の先生方が悩んだり心配な場面を訪問し、児童の状況を細やかにアセスメントし三者で共有する。 ②園の先生方の良さを伝えることを重視し、児童への肯定的な関わりを強化する。 ③上記2点を踏まえ、保護者が安定した気持ちでわが子や園生活に向き合えるようにしていく。 ・保護者援護において、児童の発達状況や集団生活の難しさなど園のみでは伝えにくい事柄については、園の先生方と役割分担し、客観的な視点として訪問員から保護者に伝えながら、児童の共通理解に向けている。	・保護者や園との信頼関係のもとに成り立つ支援なので、双方の思いや考えを傾聴したり立場を尊重しつつ、児童を中心にした関わり合いを深められるよう今後も考えていく。 ・月1回の訪問のため短時間でのアセスメント力が問われるため、訪問員自身も発達の見極め方や環境の捉え方など自己研鑽を積みながら、丁寧な支援ができるようにしていく。
2	・保護者と園の先生との間で、家庭や園での様子や関わり方を互によく知り、それぞれの良さを活かせるように、随時関わり方を提案しながら、児童への一貫した関わりに向ける。	・要求表出の仕方や生活面の取り組み方など、児童の発達に適した関わりを一貫できるよう、状況を聞き取りながら共有に向けたり、必要に応じて関わり方の具体的な提示を行っている。	・保護者と園の二者のやりとりで方向性が見出せるとより良いが、児童の発達状況により難しい局面も多いので、児童の状況を的確に見極めながら、どういった支援が適しているか引き続き一緒に考えていく。

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
3	・学園の嘱託STに、年1回、発達を見てもらえる。	・親子で来園してもらい、STから40分の個別指導を受け る中で、保護者がわが子の発達や関わり方を知る機会と している。保護者だけでなく園の先生方とも共有し、園 での関わりにも活かすようにしている。	・専門的な視点での捉えにより保護者や園の新たな気づ きとなることも多いため、今後も積極的に参加を促して いく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援の利用者が少ない。	・保健センター等で勧められ民間療育の利用者が増えてい ること。	・訪問支援について、発達相談や巡回相談を通して、保護 者や幼稚園・保育園の先生方に広報していく。また、園 長会への参加や保健センターとの話し合いなども必要に 応じて実施していく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター あすなろ学園

公表日： 令和 8 年 3 月 19 日

利用児童数： 2名

回収数： 1名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
非常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日： 令和 8 年 3 月 19 日

児童発達支援センターあすなろ学園

利用児童数： 2名

回収数： 2名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2				
5	事業所からの支援に満足していますか。	2				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・いつもありがとうございます。 訪問時に限らず、常に気にかけて、連絡やお声掛けいただき感謝しています。 該当園児だけでなく、職員やクラス等の様子に合わせた具体的な助言をいただけるので、すぐ実践することができ、新たな視点を持つことができました。 事業所・保育園・保護者が連携することで、それぞれの立場から同じ方向に向かった支援や子育てができていると思います。今後ともよろしくお願いします。				・園の先生方に快く訪問を受け入れていただき、児童や親子支援について一緒に考えたいという姿勢で向き合っていることが、支援の土台となっております。今後も、丁寧な支援を行っていけるよう、研鑽に努めて参ります。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センター あすなろ学園

公表日： 令和 8 年 3 月 19 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	1		・観察中心の訪問のため、教具教材を持参することがなかった。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2				
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2				
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2				

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1		・簡易的な発達検査を実施したり、学園で実施しているSTへの参加を促した。 ・3回の訪問で終了となり、児童の詳細なアセスメント把握には至らなかった。	・観察を通してのアセスメントと同時に、STへの参加を促したり、必要に応じて簡易的な発達検査を行いながら、保護者支援にも活かしていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2				
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2				
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2				
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2				
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2				
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			・ 学園通園児対象の勉強会（父母教室）への参加を促している。	・ 参加保護者から、勉強会での学びは非常に大きかったとの感想も聞かれるため、今後も積極的に参加を促していく。
保護者等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
への説明等	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2				
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2				
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2				
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2				
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2				
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2				
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2				
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2				
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2				